英語の「質問のたね」3分ログ｜7日分

中高一貫校・中1／中2｜できなかったことを責めず、次の一問につなげる

使い方：英語を勉強した日に、下の4欄を1行だけ埋めます。毎日できなくても問題ありません。教材の英文や個人情報は丸ごと写さず、単元・問題番号・困った点を自分の言葉で書きます。

3分の流れ：①取り組んだ範囲 → ②止まった瞬間 → ③自分の仮説 → ④次に聞く一問

日	範囲・問題番号	どこで止まった？	自分の仮説・試したこと	次に聞く一問
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				

書き方の例：範囲「学校ワーク・現在形 No.4」／止まった点「主語が he のとき動詞に s を付け忘れた」／仮説「主語を先に丸で囲む」／次の一問「does を使う疑問文では動詞に s が必要？」

記録は学力判定ではありません。本人が書けない日は空欄のままで構いません。

週末の整理｜質問を一つに絞る

7日の記録から、授業・学習相談へ持っていく「次の一問」を選ぶ

A｜繰り返し出てきた困りごと

似た内容が2回以上あったら、問題数よりも「共通するつまずき」を書く。

例：主語が三人称単数のとき、肯定文と疑問文で動詞の形が混ざった。

B｜試して分かったこと

丸付けをしたか、解説を見て言えるか、自力で初見問題を解いたかを分ける。

例：元の問題は直せたが、語順を変えた例文ではもう一度迷った。

C｜次の授業で確認したい一問

相手に全部解説してもらうより、「どの箇所・どの判断」が不明かを指定する。

例：Does she play tennis? で plays ではなく play になる理由を知りたい。

D｜本人が選ぶ次の行動

できる範囲で小さく決める。無理に課題や記録の回数を増やさない。

例：次回は肯定文・疑問文を各1問ずつ、説明を見ずに解いて確かめる。

家庭・先生への共有カード（提出不要。本人の希望を優先）

自分で分かったこと _____

まだ分からないこと _____

次に質問したい一問 _____

安全と利用上の注意

- 氏名、学籍番号、成績表の全体画像、他人の答案、学校の非公開配布資料をそのまま貼らない。
- 学校・教材のコピーや共有は、所属校と著作権者の利用条件を優先する。
- このログは指導のきっかけを作る独自ワークで、学力・成績・合否を保証しない。
- 不調や負担が強いときは記入を休み、必要に応じて学校・保護者・指導者と相談する。

関連する無料資料：慶英会ブログ「無料PDF資料室」
https://blog.keio-edu.com/free-english-support-worksheets/